

Windows® 11 対応

Windowsタブレットを使ってPDFに手書き文字入力／電子サイン

SkyPDF® Touch Ink for win 8

手書きの良さを残してそのままデジタル化、ペーパーレス化。
紙に代わり、WindowsタブレットとPDFを積極活用したワークスタイル変革を推進します。

本製品は「SkyPDF Professional 8」のオプション製品となります。

これまで紙ベースで運用していた各種帳票・書類（契約書、受領書、検取書、申込書、申請書、報告書、お客様アンケートなど）をPDFにしてWindowsタブレットで表示し、電子ペンを使って、自然な書き味でストレスなく手書き文字入力、サイン（署名）が行え、そのまま電子データとして保存、保管できます。国際規格のISOに準拠したPDFなので、安心してお使いいただけます。

1 必要に応じて3つの入力モードを選択可能

サイン／署名箇所には手書き文字がそのまま画像化される「イメージモード」と画質が劣化しない「バスマード」、正確な判読が必要とされる箇所には手書き文字がテキスト変換される「テキストモード」と、必要に応じて3つの入力モードを使い分けられます。



2 改ざん検知機能を標準搭載

直筆サインに電子署名技術を融合させ、サイン後の改ざんを検知できる機能を実装し、電子文書としての真正性と保管性を向上させました。

たとえばこんな業務シーンで！

- セールス、窓口での対面による契約、申込業務
- 現場での記録、チェック、報告業務
- 工場での設備点検（保全）、工程管理業務
- 店舗や倉庫でのピッキング、出荷検品、棚卸し業務
- お客様アンケート など

今まで使用していた帳票類を、手書きの良さを残してそのままデジタル化、ペーパーレス化。



現場で図面に直接書き込めます！
拡大・縮小しても「ぼやけない！」「にじまない！」



正確な判読が必要とされる箇所は「テキストモード」で

チェックボックス、ラジオボタン、リストダウンメニュー等の各種フォーム形式に対応

署名・サイン箇所は「イメージモード」で

企業におけるタブレット端末の業務への利用が急増しています。本製品を導入することで携帯性に優れ、手軽に持ち運べるタブレット端末の特長を活かした訪問・外出先での各種契約・申込業務や、報告・記録業務が行えます。本製品を活用して電子化・ペーパーレス化を推し進めることにより、「業務効率向上」と「コスト削減」を可能とします。

電子化・ペーパーレス化

業務効率向上

- 入力時の負担軽減
- 事務作業の負荷軽減
- リードタイムの短縮
- 契約申込・同意承認・報告記録業務等のスピードUP

コスト削減

- 用紙・印刷・郵送・輸送・交通費等の削減
- 保管に係るスペース（倉庫）コストの削減
- 印紙税不要

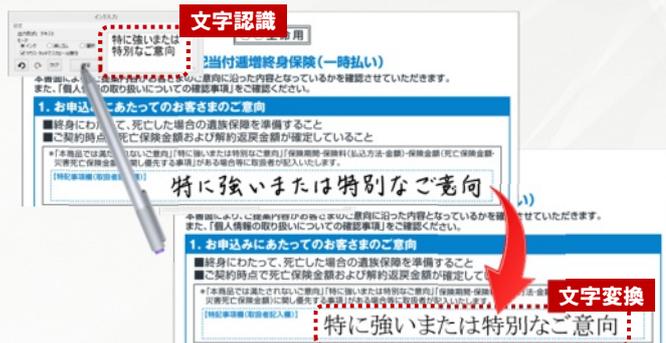


業務改革による
競争力強化



高精度な文字認識／変換機能

文字認識／変換機能を使用すれば、手書きした文字をテキストに変換します。



手書きした文字がそのままデータに

タブレットに直接手書きで文字を入力（またはフォーム選択）することで、集計や入力・キーパンチといった後処理リードタイムを削減し、業務のスピードアップ、効率化を図れます。

※開発ツールキット「SkyPDF Tools SDK III インクプラグイン」を使うことで、PDF内データをテキスト/XML形式で抽出し、データベースに取り込めます。



手書きサインと同時に電子署名

電子署名法など各法令に準拠した電子契約・電子文書保存のニーズにお応えします。有効期間内であればいつでも署名検証による改ざんの検知ができます。



【動作環境】

OS	Microsoft Windows 10 32bit / 64bit Microsoft Windows 11 64bit
----	--

・Microsoft、Windows等は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
 ・その他本カタログに記載されている会社名、ブランド名および商品名は、すべて各所有者の商標または登録商標です。
 なお本カタログでは、®マークおよびTMマークの表記は省略いたします。

電子サインの筆跡鑑定

は可能でしょうか？

A 可能です。

筆跡鑑定は、書き手の筆癖（書き方の癖）や、完成した文字の特徴を捉え、比較観察をして鑑定結果を導き出します。

数年前、大手通信会社の「電子サイン」と紙面にサインした筆跡の検証」十数例に協力し、電子ペンでタブレット端末の画面に書かれたサインでも、書き手の筆癖や特徴が表れることが確認され、紙に書かれたサインとの比較鑑定が可能であり、問題がないことを確認しています。



田村鑑定調査
代表鑑定人
田村 真樹
日本筆跡鑑定協会 事務局長

また、電子サインの強みである筆圧やストローク情報等のデータ化は、確度の高い筆跡鑑定を実現する有効な材料になると考えられるため、今後の高度化を期待しています。

本カタログの記載内容は、製品の改良等のために予告なく変更する場合がございます。

